

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 534

事務事業名	図書館管理運営事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 21 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課・図書館		
課長名	鈴木 章子	内線	52-2457
担当者名	西 義博	内線	52-2457

基本目標		人を育むまち
政策	010305	文化の振興と生涯学習の充実
施策		図書館の充実と整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費
事業コード	020000	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 図書館を利用する人		
意図	対象をどのような状態にしたいか 図書・雑誌等の資料を収集、整理、保存して市民に提供するとともに、読書環境を整備し、市民の生涯学習活動を支援する。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 火～日曜日開館(月曜日休館)。午前10時から午後6時まで開館。図書・雑誌等の貸出・返却・検索等を行うため図書館電算システムを導入。利用者用検索端末機を3台設置。分館(中地区公民館)・配本所(郡地区公民館と住民センター6か所)を設けて、地域の人たちが図書の利用をできるようにしている。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、大村市立図書館条例及び同施行規則、大村市子ども読書活動推進計画		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 開館日数	計画値	276	276	277	275	
		実績値	275	276	277		
		達成度	99.6%	100.0%	100.0%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 貸出冊数(本館・分館・配本所の合計)	計画値	508,843	513,932	519,000	524,190	
		実績値	463,333	462,248	452,607		
		達成度	91.1%	89.9%	87.2%		
	② 図書館(室)の利用者数(本館・分館・配本所の合計)	計画値	229,350	234,675	240,000	244,800	
		実績値	192,776	204,015	197,402		
		達成度	84.1%	86.9%	82.3%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	19,973	21,572	22,022	30,374	20,759	20,759	20,759	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	144	160	166	179	162	162	162	
一般財源	19,829	21,412	21,856	30,195	20,597	20,597	20,597	
② 人件費(千円)	29,018	24,212	25,943	26,345	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	3.47	3.00	3.50	3.45	図書館の運営及び施設の維持管理	図書館の運営及び施設の維持管理	図書館の運営及び施設の維持管理	
時間外勤務(時間)	721	493	351	351				
嘱託等人数(人)		0.30	0.30	0.30				
フルコスト(①+②千円)	48,991	45,784	47,965	56,719				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市民に親しまれる図書館を目指し、ボランティアグループと協力して、おはなしの会やコンサート等のイベントの充実を図り、利用の拡大と生涯学習活動の推進に努めた。
事業が抱える問題・課題等	施設の老朽化に加え、閲覧スペース、学習室及び駐車場が狭いことにより、利用者の満足を得られていないのが現状である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	コスト削減には最大限努めており、これ以上の削減は無理である。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	利用者のニーズ・利便性を第一に、今後どのような図書館が求められるのかを考えながら、新図書館の開館に向け多くの人々から必要とされる図書館を目指す。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	新図書館開館時の利用者の増加等が期待される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。